

# 地域ごとの取組事例 (東京都沖ノ鳥島、南鳥島)

---

平成26年3月19日

# 沖ノ鳥島、南鳥島における海洋観光の可能性

## 1. 魅力

- 沖ノ鳥島は最南端、南鳥島は日本最東端に位置しており、そのロケーション自体が観光地として魅力となり得る。また、島周辺には美しく、多様なサンゴ礁が形成されている。
- 近年では、クルーズ船で沖ノ鳥島、南鳥島の周辺を周遊する観光ツアーが企画されている。  
(※現時点で、クルーズ船による南鳥島、沖ノ鳥島への上陸はできない。)
- 南鳥島内には、旧日本軍戦車の残骸や、日本最果ての電子基準点等もある。

沖ノ鳥島



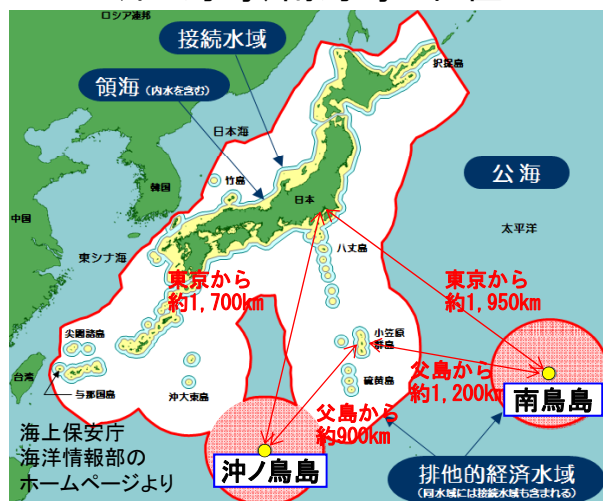
国土交通省HPより



南鳥島

海上自衛隊HPより

沖ノ鳥島、南鳥島の位置



多様なサンゴ礁



東京大学大学院HPより

歴史的遺産



海上自衛隊HPより

電子基準点



国土地理院HPより

## 2. 沖ノ鳥島、南鳥島の観光を振興することの意義

- 沖ノ鳥島、南鳥島は、その2島のみで約80万Km<sup>2</sup>の我が国EEZの根拠となる国土保全上重要な島であり、両島に観光することで国境離島の管理の重要性について学ぶ機会にもなり得る。
- また、沖ノ鳥島、南鳥島の周辺は多様なサンゴ礁が形成されており、観光資源になるとともに環境保全の重要性について学ぶ機会となり得る。
- 日本最南端、最東端の島に行くことについては、一部の観光客には高い需要があることが予想され、両島を管轄する東京都にとっても経済的な効用が大きいものと推測される。

## 3. 船舶係留が可能となる施設整備

- 沖ノ鳥島、南鳥島においては、海洋の開発・利用などを行う活動拠点として、船舶の係留、停泊、荷さばき等が可能となる港湾施設(特定離島港湾施設)の整備を行っている。
- 港湾施設(特定離島港湾施設)について、南鳥島は平成27年度、沖ノ鳥島は平成28年度に船舶係留が可能となるよう整備を推進しているところ。
- 港湾施設(特定離島港湾施設)は、海洋資源開発・利用、海洋調査に関する船舶の利用を想定しているが、観光への利活用など他用途への検討の余地はあると考えられる。

